

サンゴメンテナンスの活動報告

2016年12月6日～12月9日に、サンゴメンテナンスのため沖縄県恩納村を訪れました。
サンゴたちの様子など、最新情報をご紹介します！

TOPIC



サンゴの白化

2016年の夏は、海水温が高い状態が続いたため、恩納村海域のサンゴにも影響が出ていました。サンゴ返還プロジェクトで移植したサンゴも、サンゴ礁再生プロジェクトで育成中のサンゴも両方とも、白化と呼ばれる状態になりました。この状態が長く続くと、サンゴが死んでしまう危険な状態です。12月のメンテナンスでは無事に回復できたサンゴ、残念ながら死んでしまったサンゴの両方を確認しました。白化を乗り越え、回復したサンゴたちは元のような色に戻っていました。

2016年6月



回復できたサンゴ



回復できなかったサンゴ

サンゴに色があり、褐虫藻がいて元気な状態

2016年9月



高水温の影響により褐虫藻がいなくなり、白化

2016年12月



褐虫藻が戻り復活



白化後に褐虫藻が戻らず死滅

サンゴ返還プロジェクト 活動報告

今回のメンテナンスでは当館で枝打ちを実施した小さいサンゴの移植をしました。岩盤に穴を空け、スティック状の土台を差し込む作業を水中で行いました。今後も移植した5本の成長を見守ります。



移植サンゴの成長記録

ウスエダミドリイシ

ハイマツミドリイシ

2015年



2016年



2016年スタート

クシハダミドリイシ



サンゴ礁再生プロジェクト 活動報告

サンゴ礁再生プロジェクトの最新情報です。白化などのトラブルもありましたが、ほとんどのサンゴが回復し、順調に成長を続けています。開始当初10cm程度の大きさだったサンゴたちも40cm近くに成長しています。2017年の産卵に期待が持てそうなサイズとなってきました！

